

福居



会報
第27号

昭和62年1月20日発行
発行所
福井商工会議所青年部会
発行責任者
天野吉壹



新年のごあいさつ

福井商工会議所

会頭 八木 熊吉

明けましておめでとうございます。

青年部の皆さまには、新たな決意で希望に満ちた新年のスタートを切られたことと思います。経営環境は依然として厳しいものがありますが、皆さまの若さあふれるバイタリテイによって、この難局を乗り越えられることを期待しております。

二十一世紀に向けて、福井県には数多くの課題が山積しております。中でも、北陸新幹線の早期実現と福井空港の再開は、地域振興の絶対的条件であり、県民あげて積極的に推進していく必要があります。もし、福井県が全国の高速度交通体系に入らなかつたとすれば、東北新幹線の沿線都市とそうでない都市の格差はますます広がるだけでなく、経済、社会、文化のあらゆる面で立遅れることは必至であり、他都市との格差はますます広がります。また、都市間競争がすでに始ま

っています。金沢市の再開発事業には目を見張るものがあります。これに対して、福井駅前を中心にコミュニティマーケット構想など、ようやく再開発への気運が高まってきたところであり、これも早期実現に向けて一層の努力が必要であります。北陸新幹線の開通によって、県都の顔として文化の薫り高い都市づくりを目指すことが、都市間競争に対処できる唯一の道であると確信するものであります。

このほか、円高問題はもちろんだが、国際化、情報化、高齢化などの問題がありますが、商工会議所の地域発展のために寄与しなければならぬ役割は、ますます重要になってきております。このため、地域の実情や会員ニーズを的確に把握し、従来事業の繰返しでなく、重点事業を選択して積極果敢に行動しなければなりません。

この時に当たり、青年部活力に大きな期待を寄せるものであります。部員相互の交流を深め切磋琢磨するとともに、地域振興について真剣に取り組んで欲しいと念願しております。そして、全国大会を成功させたあの意気込みと活力を、青年部活動のシンボルにしたものです。

最後に、今年も皆さまにとりまして、よい年でありませうよう念じて、まして新年のごあいさつといたします。

年頭のごあいさつ

福井商工会議所青年部会

会長 天野 吉壹

明けましてお目出度う御座居ます。

正月早々盛んに今年の経済界の行方を論じられていましたが、我々にとっては昨年同様の状況の中でより良い自助努力をする以外には無い訳で余り他力本願になつてもいたしかたが無いものと考えています。

今年も青年部会におきましては、委員会の活性化が唯一の青年部会の未来へ続く道であると確信しています。委員会の活性化をするには第一にメンバーが育つて行かれる事で、そのためには、委員長、

副委員長が成長されてなければならぬ訳です。委員長、副委員長はまず、自らの最初考えていた企画や、今までの活動を振り返って、良い処はさらに伸ばして行つても、悪い処は思いやり、又、常に青年部活動は何であるかと言う原点にもどる事が必要です。

委員長は委員会事業をするにあたり、予算管理をしつかりして下さい。これをいい加減にしてしまうと、世に言うドンブリ勘定の様相を呈してきますので特に注意して下さい。又各メンバーは自ら企画をたてる訓練をして下さい。そして全員が委員会活動を柔軟に独創的に運営するよう心がけて下さい。

青年部会のメンバーはまだまだ個性的な動きをして、大きな「うねり」を内外に伝えてもらわなければならぬので、特に自己研修は、多く取り入れて下さい。

まだまだお願いしたい事は多くありますが自己を強化する事は、青年部会にはさる事ながら基礎となる自分の属する企業にも良い影響を与えます。

まずは皆さん、今年さらさらになつて下さい。

新年の

ごあいさつ

古川 伸二

明けましておめでとうございます。青年部会員の皆様には希望に満ちた初春をお迎えになり、誠に御慶に存じます。

昨年、内需においては競争激化、一方輸出では急激な円高により誠にきびしい年に終始致しました。しかしながら会員の皆様におかれましては、自社企業の特徴を發揮され、日々努力されている由頭が下がります。

尚かつ部会活動に際しましては各委員会をフルに活用され、以前にも増して、活発化している事も特筆すべき事と痛感致しています。

さて私、このたび昭和六十二年度全国商工会議所青年部連合会(商青連)の代表幹事に選任されました。元より、その器ではありませんが、福井の名に恥じない様頑張り、いつて来ます。

商青連も設立五周年になろうとしており、充実期として責任は大なるものと自覚しております。

21世紀には

30万都市に…

『市長と語る会』

十一月十六日、十一月例会のあとニューパレスホテルで「市長と語る会」が開かれた。市長卓話では、

人口が25万人を突破した、21世紀に向けて30万都市をねらっているが今の情勢では難しい、しかし実現に向けて市民一体とならなければならぬ。それには、金沢に負けない様な都市づくりが必要で、全国から人を集める作戦を考えな



す。主な事業として六月には米国・カナダ研修旅行、又十一月沖繩にて全国大会等があり、皆様には是非御支援、御参加賜りたい事が多々あると存じます。

何卒宜しく御願ひ申し上げます。年頭の御挨拶とさせて頂きま

臨時総会

開かれる

十二月二十八日、福井商工会館常議員室で臨時総会が行われた。

はじめに役員選出方法についての議事に入り、役員選出規程第一条から第四条まで読み上げ、採決をとった決案、全員賛成で指名委員会による選出方法で可決した。

つぎに、補正予算について、林副委員長から説明、提案が行われた。説明では、九つの多くの委員会を作り予算だてをしたが、委員会によって財政の苦しいところと余裕ある委員会がある。後半期に入り委員会を円滑に運営する為に補正予算を出したいが、内容については役員会に一任して欲しい。採決の決案、全員賛成で可決した。

「会頭と語る会」

開かれる

十一月二十八日、臨時総会のあと、「会頭と語る会」が開かれ、先ず講話が行われた。

日本の景気は増々悪くなる。我々は発想を変えて立向かわなければならぬ。40%以上円高になつたがアメリカから日本への輸出は20%位しか伸びていない。

一九七〇年までは世界の産業の先駆者であったアメリカの産業が今空洞化している。そんな中で日本への圧力がかり、逆に日本の空洞化を恐れなければならない。

今、産業は、第二次サービス産業の構造になっている。サービス産業の構造、情報化、ソフト産業の時代である。我々は、ユーザーが作った素材を、基礎技術をいかに応用し、利用するかが問題である。これからは自分の脳を生かす情報を与える事によって市場を制覇する事が出来る。青年部会員の諸君は、これだけのメンバーがあり、これだけ活動していれば、大きな情報を持っている。お互の有情の中で、夢、ロマンを持って真じめに立ち向って欲しい。私も皆

さんの夢、智慧を伺って共に頑張りて行きたい。と語っておられた。

そのあと懇談会が行われ、福井空港問題では、福井が一日も早く情報の発信基地にならなければならぬ。これからの経済は、世界との貿易との前にお互に文化の交流が必要である。又、福井市の町づくりについては、例えば駅前のレストランを考え直し、明るく、楽しい町にする事が必要だ、そんな事が、人が集まり、情報の基地に連がる。又、それがコンベンションの構造に連がる。

以上、八木会頭の有意義な講話と夢ある懇談会を終えた。



ければならない。それには市全般の環境づくりが必要である、幸いフェニックスプラザが完成してから多種多様なイベントが開かれる様になり、コンベンションセンターの核となつて来た。

青年部会の皆さんには、街づくりに関心を持ち力になつて欲しいと語られた。

その後、福井市商工課宮下課長の乾杯があり、福井商工会議所業務部鯉淵信一郎長、奥山秀範課長補佐の新任紹介があった。

つづいて、酒を飲み交しながら懇談に入り、一人一人青年部会員の自己紹介や、市長への要望など行われた。

青年部会 会員手帳 変更箇所			小 鶴 安 彦	会社名	アルターコヅル
会員名	変更項目	修正記入	役職名	会社電話	代表
石内周和	会社電話	23-0005	会社住所	福井市中央1-20-7	25-1338
小川修	役職名	専務取締役	会社電話	20-3450	福井市中央1-20-7
小川修	会社住所	福井市種池町6-3-1	自宅住所	福井市大手2丁目13-11	20-3450
小沢忠	会社住所	福井市花堂東1丁目5-25	会社名	永井建築設計事務所	福井市大手2丁目13-11
河合克也	会社名	ダイヤモンド	役職名	所長	永井建築設計事務所
河合克也	会社住所	福井市二の宮2-27-31	会社住所	福井市松本2丁目2-3	所長
河合克也	会社電話	26-0001	会社電話	22-0835	福井市松本2丁目2-3
木内秀旺	会社名	(株)コスモス	会社電話	20-5361	22-0835
木内秀旺	会社電話	21-2800	会社住所	福井市大願寺2丁目9-1	福井市大願寺2丁目9-1
木内秀旺	自宅住所	福井市順化2丁目4-6	福井開発ビル6F		福井市大願寺2丁目9-1
木内秀旺	自宅電話	25-0111	役職名	福井銀行本店	福井市大願寺2丁目9-1
敬松利雄	会社名	(有)共立木工	会社住所	福井市順化1丁目1-1	福井銀行本店
敬松利雄	会社住所	福井市和田中30-2-1	会社電話	24-2030	営業統括部 部長代理
敬松利雄	会社電話	26-6456	役職名	専務	福井市順化1丁目1-1
敬松利雄	自宅住所	福井市荒木新保28-16	会社電話	20-5275	専務
敬松利雄	自宅電話	41-3176			福井市荒木新保28-16

明けましておめでとうございます。

本年はよろしくお願ひ申し上げます。

いちいちお伺いして皆様にごあいさつ申し上げるべきですが、広告にてごあいさつに代えさせていただきます。

青年部会 総務副委員長 小川 修

GATEAUX

NAKAMURA



すべて手作りの本物の味をどうぞ

お菓子の NAKAMURA

福井市文京2丁目8-8
(市立図書館前)
TEL 24-5508

企業訪問

土田産業

株式会社

会社概要

本店

福井パレスホテル

(昭和六十二年三月新築移転オープン)

福井市順化二丁目五十七

TEL 一三三三八〇〇

支店

福井ニューパレスホテル

(昭和五十五年六月オープン)

福井市順化二丁目十二十七

TEL 一三三三八〇一

ウイクリーホテル

(昭和六十二年三月現福井パ

レスホテルより改名)

TEL 一三三三八〇八

設立

昭和四十六年十一月一日

昭和四十六年に福井パレスホテルが片町の近くで創業を始めて、いらい十六年目を迎えますが、今度さらに規模も大きく(客室数百室会議室は大小あわせて三室、宴会場は三五〇㎡、立食で四百名収容可)、宿泊設備を中心にレストラン

や宴会場等、シティホテルとしての機能も充実させて、新しい福井パレスホテルをオープンさせて頂くことになりました。

近年、福井においても宴会やパーティ、各種の会議、催し物など市民のコミュニケーションプラザとしてのホテルの役割は増々高まっています。どうかろうと考えています。

こういった流れの中で、新聞などで再三取り上げられ話題になっているホテル計画の中で、より一層発展させるために厳しい経営に取組まざるを得ないと痛感しております。

とにかく現在、新しい福井パレスホテルのオープンを目前にして、こまごまとした業務の詰め直しに追われながら、市民が行き交い、家族が触れ合うという新しい暖かさを持ったシティホテルにしていきたいと考えています。



62年3月オープン

市内の渋滞解消へ

小型地下鉄提言

金沢経済同友会(福光博、渋谷亮治両代表幹事)はこのほど「明日、明後日の金沢のために」と題した金沢の都市交通問題に関する提言をまとめた。金沢市内の交通渋滞を解消するため、小型地下鉄の導入を訴えているもので、パンフレット一千冊を作製し関係機関に配布している。

この提言は金沢経済同友会が来春、創立三十周年を迎えるのを機に、記念事業として取り組んできた。今春、会員がカナダや米国の新交通システムを視察したほか、伊能忠敏金沢工大教授の助言を得てまとめた。

提言では美しい歴史的な街並みを保存していくためには地下鉄が必要とされている。人口百万以上の都市でないとは採算が合わないといわれる地下鉄も、欧米では小型地下鉄が中小都市でも成り立っているとしている。そしてフランスのルールやカナダのバンクーバーのミニ地下鉄を紹介している。

金沢市に地下鉄導入を実現して

いくためには常設のプロジェクトチームを編成。需要の見直しをはじめ施設計画、事業計画を練るべきだ」と提言。また、この計画を

実現していくために住民の意識高揚と国に対しても法体系の整備、道路財源の公共交通施設への適用などを要望していくことも提言している。

「福井新聞より」
ウサギ年って、どんな年？
今年がウサギ年、第百生命がまとめた「卯年の話あれこれ」から、卯年の歴史をながめてみると、卯年とは古来、大事件の多い年のようだ。

まず出来事では、源氏滅び北条氏の執権政治が始まり(一二一九年)、大坂夏の陣で豊臣氏が滅亡(一六一五年)、日米安保条約、日本社会党の左右分裂(一九五一年)などの政治上の大きな変化があった。

世界に目を転じると、第二次世界大戦勃発(一九三九年)、ケネディ大統領暗殺(一九六三年)といった大事件を生じている。

気がかりなのは、阿蘇山噴火、桜島大噴火、浅間山大噴火という大災害が起っている。昨年三原山が大噴火したところ。大禍ない一年を、と祈らずにはいられない。



総合建築企画・設計・監理

一級建築士事務所

かわむら建築事務所

〒910 福井市月見3丁目2番43号松原ビル2F TEL (0776) 36-9211